

# 静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会  
会報 第75号  
平成25年6月5日発行  
編集人代行 八牧浩行  
(82期)



## 平成25年度 関東同窓会・懇親会を開催します

### 伝説的TV番組「電波少年」や「天才たけしの元気が出るテレビ」など、今だから話せる? 『ここだけの話』満載でお送りします

記

日時 七月五日(金) 午後六時より

場所 日本プレスセンタービル10階

東京都千代田区内幸町二-二-一  
(会場案内は下記)

懇親会費 四〇〇〇円(但し学生は一〇〇〇円)

年会費の三〇〇〇円は当日受付も致します  
がこの会報に同封の振込用紙によりご納入を  
お願い致します。

同窓会総会 議題

一号議案 平成二十四年度事業報告、会計報告  
二号議案 平成二十五年度事業計画、予算計画  
三号議案 任期満了による役員改選の件

総会、講演終了後、懇親会を開催します。

講演

テレビ60年の歩み、そしてこれから  
〜伝説の番組「電波少年」T部長が裏話満載で語る〜  
裏話満載で語る〜

講演者 土屋 敏男氏(91期)

LIFE VIDEO(株) 代表取締役ディ  
レクター、日本テレビ編成局専門局長

プロフィール



1979年3月一橋大学社会学部卒。日本テレビ放送網入社。  
主にバラエティー番組の演出・プロデューサーを担当。「進め!電波少年」ではTプロデューサー・T部長として出演し話題に。このほかの演出・プロデュース番組「天才たけしの元気が出るテレビ」「雷波少年」「ウッチャンナンチャンのウリナリ!」など。  
2012年7月より現職。  
2013年2月には、NHK「NHK×日テレ60番勝負」に出演。

「アボ無し取材」や芸人を世界の最果てまで連れて行ってしまふなど、「過激な」演出でテレビの歴史に残る「電波少年」シリーズのプロデューサーだった土屋敏男さん。クリエイティブの原点は、静高時代の『仮装行列』だったと言います。

「こんなこと無理」「前例が無い」といった分野に現在でもチャレンジし続けています。本年2月にはNHKの番組に民放の立場から出演。テレビ60年の歴史とこれからのディスカッションしました。  
今回は、話題になったテレビ番組の裏話を交えて、テレビ制作の現場や番組の変遷など話すとともに、これからのテレビ、メディアの可能性についても語ります。  
アノ懐かしい番組映像も紹介!

会場案内図



会場 日本記者クラブ 大ホール

日本プレスセンタービル10階

東京都千代田区内幸町一-二-一

電話:〇三(三三)五〇三三-二七二二

FAX:〇三(三三)五九三三-六三三三

東京メトロ 千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅C4

東京メトロ 丸の内線 霞ヶ関駅B2

都営三田線 内幸町駅A7

JR 新橋駅 日比谷口(SL広場側)

### 平成24年度 収支決算報告書

静中・静高関東同窓会

自平成24年4月1日～至平成25年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
年 会 費	1,800,000	1,895,000	95,000	コンビニ8、〒532、現金92 合計632
総会・懇親会費	600,000	760,000	160,000	会員190名
会報広告料	340,000	220,000	△ 120,000	
本部助成金	800,000	700,000	△ 100,000	
利息・その他	30,000	56,315	26,315	
計	3,570,000	3,631,315	61,315	
前年度繰越金	3,600,606	3,600,606	0	
合 計	7,170,606	7,231,921	61,315	

(支出の部)

総 会 費	1,250,000	1,296,065	46,065	
準備費会場費等	200,000	157,498	△ 42,502	
懇 親 会 費	1,050,000	1,138,567	88,567	
会報発行費	1,400,000	1,312,420	△ 87,580	発行部数10,000部
印 刷 費	650,000	653,260	3,260	
発 送 費	700,000	659,160	△ 40,840	
編 集 費	50,000	0	△ 50,000	
役員理事会費等	400,000	511,712	111,712	
旅 費 ・ 交 通 費	70,000	27,000	△ 43,000	
銀行郵便局振込費	60,000	59,152	△ 848	
コンビニ振込費等	20,000	3,967	△ 16,033	
事務費・雑費	260,000	270,101	10,101	
通 信 費	50,000	36,618	△ 13,382	
慶 弔 費	0	10,000	10,000	
予 備 費	40,000	0	△ 40,000	
計	3,550,000	3,527,035	△ 22,965	
次期繰越金	3,620,606	3,704,886	84,280	
合 計	7,170,606	7,231,921	61,315	

### 平成25年度 収支予算書 (案)

静中・静高関東同窓会

自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

科 目	24年度決算額	25年度予算額	増 減	摘 要
年 会 費	1,895,000	2,100,000		700名前年比68名増加
総会・懇親会費	760,000	800,000		200名前年比10名増加
会報広告料	220,000	340,000		
本部助成金	700,000	250,000		
預金利息等	56,315	50,000		
計	3,631,315	3,540,000		
前年度繰越金	3,600,606	3,704,886		
合 計	7,231,921	7,244,886		

(支出の部)

総 会 費	1,296,065	1,300,000		
準備費会場費等	157,498	200,000		
懇 親 会 費	1,138,567	1,100,000		
会報発行費	1,312,420	1,300,000		
印 刷 費	653,260	560,000		
発 送 費	659,160	640,000		
編 集 費	0	100,000		
役員理事会費等	511,712	550,000		
旅 費 ・ 交 通 費	27,000	50,000		
銀行郵便局振込費	63,119	70,000		
通 信 費	36,618	50,000		
事務費	240,000	240,000		
消耗品・雑費	30,101	30,000		
慶 弔 費	10,000	0		
予 備 費	0	50,000		
計	3,527,035	3,640,000		
次期繰越金	3,704,886	3,604,886		
合 計	7,231,921	7,244,886		

# 世代を超えた同窓の絆 奮って参加を!!

## 9月13日(金)に第6回異業種交流会

笠松 一久 (89期)

静中・静高関東同窓会の異業種交流会は今年9月13日(金)で第6

回目を迎える運びとなりました。

皆様の絶大なご支援をいただき、

毎回多くの方々にご参加いただ

いております。楽しく有意義な

ひと時を共有しましょう。

連絡手段も、会報・メール・

ホームページのほか、95期の寺

本匡俊さんのご尽力によりツイ

ッターでも発信が可能となりま

した。

是非一度、ご確認ください。

静中・静高関東同窓会

「異業種交流会」

@Glenfidich1208

このツイッターも活用いた

だき交流の輪を広げていただき

ますようお願い申し上げます。

日時 2013年9月13日(金)

18:30より20:30

会場 日本プレスセンタービル

日本記者クラブ9階会議室

東京都千代田区内幸町2-

2-1 (7月5日総会会場

と同じビルの9階)

内容

(1)スタートスピーチ 参加者

の中から2~3人

(2)その後の懇親会では、自由

に参加を!!



第5回異業種交流会

関連にお話ください。

会費 4,000円 (ご家族・

現役学生さん2,000円

ご出席のご連絡

ご参加いただける方は、

9月5日までに

以下笠松アドレスにメールし

てください。

E-mail kksamatsu-rop

@wine.ocn.ne.jp

もしくは FAX 03-32

57-9820 (静中・静高関

東同窓会事務所) してください。

静中・静高関東

異業種交流会事務局

## 河合正弘氏ら交え楽しく

### 有意義に 第5回交流会

第5回異業種交流会が5月10

日、日本プレスセンタービルで

開かれました。71期の浦田彰さ

ん(元NHK)から123期の法月

恵さん(東京外大大学院)まで

26人が集い、初夏の宵、仕事、

家族、母校静高の話題も含め遅

くまで歓談の輪が広がりました。

恒例のスタートスピーチ1人

目は今春静岡市東京事務所に赴

任した久保直之さん(110期)。

本会報4頁にエッセイを寄稿し

ていただいた萩原さんの後任で、

静岡市の発展に賭けた熱い思い

を語っていただきました。

2人目として登場したのはア

ジア開発銀行研究所長の河合正

弘さん(82期)。米スタンフォード

大大学院留学時代から東大教授、

財務省副財務官など豊富な体験

を披露してくださいました。

「時の人」黒田東彦日本銀行総裁

(前アジア開発総裁、元財務官)

との名コンビぶり知られたア

ジア経済研究の第一人者だけに、

会場からは「黒田総裁はどんな

人?」「アベノミクスへの評価

は?」「アジア共通通貨は可能

か?」など質問が相次ぎました。

懇親会では出席者の多くが、

自己紹介を兼ねて仕事や考えを

自由闊達に語り合い、皆、勇気

と活力を得ることが出来ました。

名刺交換などを通じて世代を超え、有意義かつ楽しい会」で  
えたネットワークがさらに広がりました。

## これからツイッターを始める方々へ

寺本 匡俊 (95期)

上段の笠松さんの記事の中に「異業種交流会」でツイッターのアカウントを設けたというご案内がありました。これまでに複数の同窓生の方々より、ツイッターの始め方を教えてほしいとのご要望がありましたので、簡単な説明を試みます。

まず拙文をご覧になる前に、職場やご家庭ですでにツイッターを使っている人がいるときは、その人に頼んで手とり足とり教わったほうがはるかに速くて確実です。

それが無理な方へ、まずツイッターとは何かというと、インターネットで不特定多数の参加者を相手に、最大140字の文章を発信するというのが基本的な用途です。新聞の投書欄みたいなものです。それに加えて、特定の相手との発信も可能ですので、こちらはメールと似た機能です。ツイッターを始めるのにあたり必要なものはインターネットにつながる端末と、メール・アドレスひとつです。また、銀行で預金の口座とカードを作るときと同様、口座名とパスワードを準備します。アカウント(一人一つの口座)の名前は、個人名でも会社名でもニック・ネームでも構いません。

まず、インターネットの検索機能により、「ツイッター」で検索してください。https://twitter.com/というツイッターのサイトが出てくるはずですので、これをクリックすると、ログインまたは新規登録をするページが出てきます。新規登録のほうに氏名、メール・アドレス、パスワードを入力します。

「ユーザー名」の登録も求められます。これはID番号で日本語は入力できず、数字とアルファベットで適宜、入力します。ここから先は流れ作業で何とかなるはずで、検索する欄が表示されたら「静中・静高」で検索してください。交流会のアカウントが見つかったら「フォロー」をクリックして仲間入りしてください。くじけた場合は寺本までメールでご連絡ください。Taramoto@aol.com

上記とは別の方法として、インターネットで「ツイッター アカウント 作り方」などと検索すれば、いろいろと説明文が出てきますので、それを参考にすることもできます。なお、ツイッターの入力画面は時々変更されており、使用する端末によって表示が異なることもありますが大差ないと思います。それでは皆さまのお越しをお待ち申し上げます。

# エッセー

## 世代を超えた友情

まさかの関東同窓会加入から

104期 萩原さほり

静岡市役所に就職したのに、まさか私が東京で生活するのは！平成二十二年四月、東京事務所への人事異動により、東京での生活を開始しました。気持ちよい興奮でいっぱいでしたが、と同時に、大学時代をここで過ごしたとはいえ、静岡にどっぷり浸かっていた私に、ここで何ができるのだろうか、何をすべきなのかと、手さぐり状態での出発でした。

静岡市は、平成十三年四月に東京事務所を開設しました。当時、政令指定都市移行を見据え、清水市との合併を目指していた静岡市では、国への働きかけを強めながら、法案その他の動向をできるだけ早く入手し対応するため、東京での拠点が必要でした。指定都市という目的を果たした後も、政治の動きに迅速に対応しながら地方自治を進めるため、そして新たに首都圏での市のプロモーションという使命も持ち、情報の受発信を行っています。

私は、そんな、職場の先輩方

が東京でのプロモーションを少しずつ開拓しているさなかでの異動でした。そこで、静岡高窓生のネットワークを使わせていただくとうと、学生時代以来の関東同窓会への加入をさせていただきました。同窓会は想像以上の楽しい会で、会員の皆様は、話をするとさらに深みと幅のある素敵な方々でした。

先輩方には失礼を承知で言わせていただくと、私は、これらの社会生活に必要で大切にしなければいけないのは、「世代を超えた友人」だと感じています。学生時代は年代が同じ友人、社会人になると同じ会社の中で環境が似ている友人との付き合いが増えていきます。しかし、年代も環境も違う友人が、これらの人生をより豊かにしてくれるのではないのでしょうか。

何より、すぐく歳が離れている友人がいるって、ステキだと思います。そんな関係が生まれると思いませんか！関東同窓会では、そんな関係が生まれると思います。特に、異業種交流会において、参加者同士がより近くで長く話ができたとでも印象に残っています。女性の先輩からお聞きした、仕事に対する姿勢大切にしていること、貫く考え方などは、これから何度も思い出して、励みにしていきたいです。学生の皆さんや若い社会人

の方々には、ぜひ参加してもらいたい会です。

仕事では、市のプロモーションをマスコミ等に働き掛けをしながら、一方で本市出身者などの本市の応援をしていただけの方のネットワークを広げていきました。市政、観光、ふるさと寄付金などの情報を発信することや、静岡市の交流会を東京で初めて実施しました。顔を見ての情報交換ができる場を作った事で、ふるさと静岡市をより身近に感じ、興味も持っていただけたのではないのでしょうか。ふるさととは、自分の原点です。困難があった時、そんなふるさと



静岡市東京事務所

を思い返し、自分を見つめることで、答えを出せるのではないかと感じています。そんな皆さんのふるさとをこれからどう舵取りしていくか、市役所の一人ではありますが、真剣に考えた東京生活でした。

そして、三年間の東京勤務を終え、静岡に戻りました。関東同窓会で巡り合えた皆様、この場を借りて御礼を申し上げます。そして、私の「世代を超えた友人」として、「故郷を語る仲間」として、今後も叱咤激励の程どうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございます。

## 私のホームコンサート活動

82期 石川 倫男

私がホームコンサート、(第一回でこるーむライブ)を千葉県船橋市の自宅で始めたのは平成23年2月23日です。以来ほぼ月1回のペースで開催し、3年目に入りました。

私は長く続けている事が二つあります。一つは高校入学と同時に始めた柔道です、柔道は今も週3日高校や町道場で行っています。もう一つはやはり高校時代好きになった音楽です。音楽は昔からのコントラバスの演

奏と、今年で3年目になるホームコンサートです。今回はそのホームコンサートを紹介し、その輪を少しでも広げたいと思っています。

ホームコンサートを開催しようと思ったのは、次のような理由です。

ピアノ教師だった妹の遺産としてグランドピアノが2台有る、またそれを置くスペースを用意した事。それから既存の演奏会に対する不満があったからです。それは、

- 1、生の音楽を楽しむには、それなりに時間をかけなければならない。と言うのはだいたいの演奏会は2時間、場所が東京となると、往復2時間、予備時間を含めると約5時間の時間を都合しなければなりません。
- 2、安い演奏会でも、演奏会費が3千円、交通費2千円合計で約5千円かかります。
- 3、大ホールでの小編成やソロの演奏会で、音は確かに良いのですが、舞台から遠い席だと演奏者の気迫や息遣いは伝わらず、テレビで見ると変わりません。

そんなことが有り、身近で生の演奏を楽しむホームコンサートをしたいとなりました。近隣の住民を対象としたホームコン

サートなら、徒歩数分で参加できます、演奏時間も気軽に聞けるよう30分×2ステージ+小品のアンコールとしました。又音響の不足分は、生の演奏の迫力でカバー出来ると考えました。

開催に当たり考えた出演者は、当時小・中学生だった妹の教え子でした。彼女達は今音大または音大卒業期になっていて、彼女達が初期の演奏会を担って、友達、船橋市で行っているロビーコンサート出演者との参加交渉等で出演者が集まり、現時点では2014年4月まで出演予約が入っています。

ホームコンサートを開いて分かった事は、日ごろクラシックになじみの無い人でも、回を重ねるうち楽しみ方が分かり、心をオープンにして聞いています。ですから目の前で真剣に演奏する曲には素直に反応するので、演奏者からは、何時も気持ち良く演奏できると、喜びの言葉が返ってきます。当然、再演を望む演奏者が多いです。気になったのは、演奏者は発表の機会が少なすぎると言う事です。演奏者はほとんどが一流音大を卒業し海外で研鑽を積んでいる方です、そのような方がこのようなホームコンサートに出演すると



は、当初考えていませんでした。

ですからこのようなホームコンサートにより、観客は身近で音楽が楽しめ、演奏者は発表の機会が増え、腕前が向上し、家ではピアノの活用が出来ること一石三鳥です。皆さんもホームコンサートを始めませんか？

(写真は22回コンサート出演のフルート・竹下喜子さん、ピアノ・矢崎里恵さん)

出演ご希望者、ライブをお聞きになりたい方にメールで予定やチラシをお送りします。

石川倫男のメールアドレス  
(以下)にご連絡ください。

m-ishikawa@cosmos.ocn.ne.jp

## たかが同窓会、

### されど同窓会⑥

#### 人生、いろいろだなア

71期 浦田 彰

初めて船旅をしました。10万トンの船で西地中海をローマからジブラルタル海峡を通ってカサブランカまで2週間、念願の旅でした。

今回はその旅の話ではありません。ツアーに同行した一人の女性の話です。このツアーの同行者は20人、出港日に初めて顔を合わせた初対面同士でした。

老年の夫婦連れが7組、親子三人組、女友達の二人連れ、それに一人で参加した老婦人、というのが道連れでした。どんな船旅でも同じですが、寄港地の観光は別にして、大半の時間は洋上を往く船内で過ごす時間です。

毎夕のディナーは同じテーブルですし、日本人の船客は私たちだけ、となれば日ごとに会話が増え、親しさが増して楽しい船旅になりました。でも、その中で、かの単身参加の老婦人だけはひっそりと、でも楽しげにみんなの会話を聞いていたのです。

が、数日過ぎうちに何故か私の家内と親しくなり、デッキやコーヒースタンドなど船内のそ

こかしこで話し込んでいる姿を見かけました。白髪で上品な顔立ち、センスの良い身だしなみ、余裕の老後を楽しんでいる風情です。

今は横浜近郊の老人ホームで一人暮らし、齢八十二歳を独身で過ごしたというこの婦人が問はず語りに家内に語った身の上を聞いて驚きました。なぜこれまでお独りだったのですかの問いに、じつはわたしは三十の時から四十年、ひとりの男性を愛し続けてきた、その男性には奥さんもお子さんもあった。いわば、不倫の四十年だった。その最愛のひとが十年前に亡くなった。それで今は、男性と歩いた思い出の街々や国々を訪ね歩いているのです、と。

……四十年の秘められた愛、まるで映画か小説のような話です。家内の話を聞いて私は、思いました。人間には棺に入れて墓場に持ってゆかねばならないハナシが一つや二つはあるものです。にもかかわらず、恍惚と絶望との葛藤の連続であったに違いない四十年の人生をなぜ家内に語ったのか、私は、彼女の深海に棲むカレイのように耐え忍んだ人生に感動するとともに、棺に入れる筈の黙して語らぬ体験をあえて語った彼女の心境を

想うのです。行きすりの他人だからから気を許したのか、洋上という異空間が語らせたのか……たぶん、それは「歳月」なのでしょう。愛したひとが逝って十年、人生を賭けた緊張が解けたのか、深海から浮上して明るい空気を吸いたくなったのか、いずれにしても、この旅は、彼女にとつて癒しの旅であるとともに、残りの人生を新しく生きようとする旅だったのかもしれない。……人生っていろいろだなあ、これが私の地中海で味わった感慨でした。

さて、間もなく関東同窓会の総会です。懇親会の会場ではそこかしこで久闊を叙しながらの談笑の輪が広がることでしょう。話題は甲子園のこと、いまだに夢に見る受験のこと、病気のことで、年金のこと、孫のこと……でも、どうでしょう、ここであなただけの墓場に持って行くハナシをひとつ漏らしてみても？ 他人には絶対に話せないと決めていた秘め事を。もう時効です。多少脚色してもいいでしょう。あなたが漏らせば、実はオレにもこんなことが、と誰かが語り出すでしょう。座が盛り上がるのは必定です。艶福を仄めかすのもよし、過ぎ去った苦い恋を告白するもよし、歳月が本音で



豪華客船「コスタマジカ」浦田夫妻と…。

語り合うのを助けます。同じ釜の飯を食った仲間こそ、長く胸に秘めた出来事や想いを打ち明けることができ、また仲間も応えてくれます。アノ時の身の処し方を語り、またソノ時の友の出入進退を聴くことが、これからの人生の知恵になるでしょう。なにも色恋沙汰の話だけではありませんが……会話は深まり、旧友との思いがけない新しい出会いが生まれるかもしれません。こうして同窓会は人生を問います。どうですか？ 今度の総会であな

たも墓場に持って行く前にアノ話を……人生、いろいろだなア……たかが同窓会、されど同窓会、です。80歳の岸恵子さんが久々に小説を上梓しました。「わりなき恋」（幻冬舎）です。69歳の女と50代の男の恋物語です。綺麗ごとではない女と男の恋の綱引き、この話はご本人の体験ではないかという評判です。あの岸さんですら漏らしたのです、棺に入れる話を。あなたのソノ話は小説になるでしょうか。ならないとしたら、莫逆の友に打ち明けてみたら？ でも、誰にも漏らさずに何かミステリアスな

雰囲気や漂わせながらこの世にサヨナラしてもいいかも……それもまた、男のダンディズムか!?

### 会報をデジタル処理、関東同窓会HPにアップ 読者も急増中!!

静中・静高関東同窓会HP (URL <http://shizuko-kanto.com/>) に、最近の会報全文 (PDF版) をアップしました。

またトライアルですが、読者にとって利便性の向上につながると思います。

「表紙ページ」の「会報トビックス」をクリックすると、会報PDFが出てきます。

また、管理人のご尽力によりPV (ページビュー) も急増しています。

このほか、「表紙ページ」の「お知らせ」をクリックすると、同窓生関連の各種イベントや発表・実績などが掲載されています。

また、「リンク」をクリックすると静中・静高関連のHPや著名同窓生について掲載されています。お時間があるときに覗いてください。とても楽しいですよ。以下はその一部です。

#### △著名同窓生②▽ 野間省一氏

静中44期、講談社第4代社長で同社の中興の祖といわれ、また日本の出版界のリーダー的な存在であり、出版事業の国際交流・支援にも功績があった。

野間記念館は講談社の社長邸をミュージアムにし、講談社のコレクションを展示している。因

に「野間省一伝」（一九九六年）は元静中静高関東同窓会長の上杉重吉氏（60期）の編纂によるもの。記念館は旧山県有朋邸

（椿山荘）や芭蕉庵の近く、文京区内でも閑静な場所にある。

芹沢長介氏  
静中52期、元東北福祉大学教授。静中28期染色家芹沢銈介氏の長男。東北福祉大学内に開館した芹沢銈介美術館は同教授の寄贈した作品蒐集品によって常設および企画の展示が行われ、同館の館長は芹沢長介氏がつとめている。ホームページも日本の民藝運動全般の視野も含めて分かりやすく充実している。

杉山英男氏  
静中58期、東大建築学科卒で木構造研究の第一人者。東大農学部林産学科で設立間もない木質材料学講座に着任し当講座と日本の木質構造研究を牽引した。建築学科と林産学科の共同で始まった「木造建築研究フォーラム」（後に木の建築フォーラム）、施工者や建材メーカーとの技術研究「木質構造研究会」などを立ち上げ、耐火建築に比べ学問的研

究の遅れていた木構造を科学的に解明し、単に研究の対象としてだけでなく大工などの生産現場の合理化にまで踏み込んで日本の木の建築の研究と生産のレベルアップを牽引してきた。日本建築学会賞など受賞多数。

#### 岡村 崔氏

静中60期、終戦の昭和20年卒業。ヨーロッパの美術を対象にした写真家として世界的な名声を確立。約三十年ローマに住み多彩な受賞歴をもつ。登山家でもある氏は高所作業のシステイナ礼拝堂フレスコ画の撮影で「ミケランジェロのベール」をはがした男」と言われた。現在は静岡在住。学術研究的にも貴重な映像を写真に残しており、東京大学総合研究博物館刊行データーベースの「古代地中海圏の葬祭文化」にもその一端を見ることができ

三木 卓氏  
静高70期、早大学露文科卒業。一九六六年（昭和42年）詩集「東京午前三時」で日氏賞を、一九七〇年「わがキディ・ランド」で高見順賞を受賞。一九六九年「ほろびた国の旅」など童話を次々に上梓、また一九七三年には「鶉」で芥川賞受賞し活動の中心を小説に移す。一九九九年紫綬褒章受章。芸術院会員。旺盛な作家活動を続け二〇〇〇年「裸足と貝殻」で読売文

学

学賞受賞。同年第26回静中静高関東同窓会総会にて講演。  
曾根 幸一氏

静高71期、東京芸大卒業後東大の丹下健三研究室に入り、東京オリンピックの代々木体育館、大阪万博の諸施設など丹下研の絶頂期の研究と設計に携わった。当時の丹下研には磯崎新、黒川紀章ら錚々たるメンバーがおり、日本の建築界を牽引するパワーとエネルギーをもっていった。その後独立し、テーマである都市デザイン、街づくり、公共性のある集合住宅などに力を発揮、その傍ら芝浦工大システム工学部長として若い世代の教育にも力を注いだ。名誉教授。  
遠山 敦子氏

静高73期、旧文部省で女性キャリア第1号。女性初の課長となり、局長、平成6年には文化庁長官と初づくし。平成8年駐トルコ大使に赴任し約3年日本とトルコの親善に精力的に活動。在任中にトルコを襲ったイスタンブール大地震のことも含めトルコ大使時のことを著書「トルコ世紀のはざまに」に執筆。その後平成12年国立西洋美術館館長。平成13年4月から平成15年9月まで小泉内閣の文部科学大臣。平成14年の第28回静中静高関東同窓会総会では、トルコ時代のこと文科大臣としての日常などについてショートスピーチしま

した。  
村松 友視氏

静高75期の村松友視氏は昭和15年東京生まれ。少年時代を清水市で過ごし慶応大学文学部卒、中央公論社で文芸誌「海」などの編集を手掛けた後独立、昭和57年「時代屋の女房」で直木賞を、「鎌倉のおばさん」で泉鏡花文学賞受賞。多数の小説の他「私、プロレスの味方です」「アブサン物語」「トニー谷さんす」「俄屋の不思議」「市場の朝ごはん」などバラエティにとんだ様々なジャンルのノンフィクションで幅広い読者を獲得している。第29回静中静高関東同窓会総会でも講演し、氏の文学の背景をいろいろと静岡での少年時代青春時代を語った。  
嶋 正利氏

静高78期、嶋正利氏は世界初のマイクロプロセッサ4004を、設立間もないインテル社で開発し、ITの雄インテル発展はもとより現代の生産・生活・文化になくてはならないパソコンの礎を築いた第一人者。MPU開発のことを書いた「マイクロコンピュータの誕生」が青春の4004が岩波書店から出版されている。また、科学技術の発展に多大な貢献をした人を対象にした「京都賞」を受賞している。  
このほか、多くの著名同窓生

が登場しています。詳しくはHPでお読みください。

### 関東同窓会費納入のお願い

関東同窓会は会員の会費(年間3千円)で運営されており、同窓会会費の集まりは多いとは言えません。同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願いいたします。同封されている郵便局振込用紙をご使用ください。

### ◆原稿・写真を募集します！

静中・静高関東同窓会の本会報(年2回)6月、12月発行)とホームページ(随時更新)は、同窓生と関係者が老若男女問わず行き来する「情報広場」(ニュース交差点)です。関東での同期会等の開催、同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセイなど、お気軽に投稿してください。ファイル添付で以下のメールアドレスにお送りいただければ幸いです。郵送の場合は下記関東同窓会宛にお願います。

Yamaki@reordchina.co.jp(八牧ホームページ)

isikawa@vtr-10.jp(川)

静中・静高関東同窓会事務所

東京都千代田区神田鍛冶町

3-1-7-13 敷下ビル6F

野方法律事務所内

### 〈同窓会・同期会のご案内〉

「江の島会」今年も開きます!

日時 9月29日(日) 12時

場所 江の島「恵比寿屋」

0466-222-4015

会費 男性7千円 女性6千円

ご連絡は江の島会会長

黒田秀幸(67期)

045-261-5181まで

「静高ハーモニカ

関東OBバンド」練習会

① 6月22日(土)

② 8月 3日(土)

③ 10月19日(土)

午後1時15分〜5時 開場1時

連絡は78期兼田

zyr02410@nifty.comまで

於 王子駅前「北とびあ」2階

つつじりハールサロ

### 編集後記

◇静中静高の校舎から毎日仰ぎ見た、懐かしい富士山が世界遺産に登録されることになりました。わが校歌「岳南健児一千の理想は高し富士の山、八面玲瓏白雪の清きは我らの心なり」は

気高く雄大で、富士山を詠んだ

全国の校歌の中で最も秀逸と言

われています。富士山はどこから

見ても同じ美しい円錐形。関東

に住む静中静高同窓生にとって

も、晴れた日に雄姿をのぞかせ

る富士山は心の拠りどころです。

「お浅間さん」の愛称で親し

まれている、壮麗な静岡浅間神社(何と境内に国の重要文化財

26棟)も富士山を神体山として

います。私の家の近くに稲毛浅

間神社があり、東京湾越しにこ

の霊峰を望むことができます。

夕日が沈むころ海岸に出ると茜色の空を背景に群青の富士のシルエットが浮かび上がりとても幻想的です。  
◇今年7月5日の総会・懇親会の目玉は、テレビ界で伝説的な「電波少年・T部長」こと土屋敏男氏の講演。お浅間さんの参道である長谷通りを練り歩いた、静高時代の仮装行列が同氏のパフォーマンスの原点とか。朝日新聞土曜版「be」のコラム「逆風満帆」で3回(今年4月27日、5月4日、11日)にわたり同氏の活躍ぶりが取り上げられました。萩本欣一、テリー伊藤、北野たけしら著名芸人との親交が深く、日本のテレビを変えたと言われる土屋さんの、とおきの面白い話と映像が満載。奮ってご出席ください。  
◇昨年スタートした「異業種交流会」は皆様のご協力を得て、次回9月13日(金)に6回目となります。「何でも気軽に相談でき話し合える同窓会」としてすっかり定着しました。皆様の同窓会行事への積極的なご参加とご協力をお願いいたします。  
(八牧浩行)

# 平成二十四年度 静中・静高関東同窓会会費拠出者一覧表

ご協力ありがとうございます。

- 48 近藤 市雄
- 52 西田 豊馬、磯貝 元
- 54 渡辺 治郎、大藤 直久、大畑 忠夫
- 55 矢澤 六雄、水上 八郎、小沢 忠樹、法月 重雄
- 57 岩井 平一郎、影島 利邦
- 58 島村 悟、猪瀬 忠賀
- 59 狩野 和男、田澤 義彦、山本 俊夫、菅原 操、山田 一夫、福地 彊、青山 勇、青木 豊、朝比奈 正三、清水 汪、内田 武二、小花 敏郎、増田 眞一、高橋 裕、川田 昭
- 60 上杉 重吉、山本 雅之助、岡田 尚、山本 正三、原田 龍二、時田 正康、石関 忠雄、笠間 達男、内藤 敏夫、井田 淳、鈴木 光男、谷 龍治、堤 崇
- 61 山崎 和夫、清水 照彦、高村 岳史、稻森 慎二、大石 次男、藪崎 昭
- 62 寺尾 壽夫
- 63 伊東 守、福岡 純一郎、吉川 隆士
- 64 野澤 正憲、岩本 吉雄、栗田 行雄、佐野 旭、杉本 哲、永田 進一、村上 喜代二、新井 彰、狩野 達彦、鈴木 明郎、山本 和彦、馬場 泰男、遠藤 栄、塚本 光彦、益頭 尚文、増田 政雄、久保 泰夫、曾根 錦吾、大村 敏夫、馬越 峻、増井 和夫、村越 立彦、石川 剣二、藤原 朝則、原野 谷 朋司、内田 幸雄、小嶋 清司、山下 裕一、大坪 信之、牧田 祐治、小林 五郎、河守 輝雄、山梨 裕司、茂木 為男
- 67 朝比奈 正三、向井 久和、児島 英男、朝倉 勇、手塚 重明、松岡 健、大石 修而、小杉 弘、岡村 英二郎、長倉 孝三、杉田 勝男、増田 安国、丸山 英久、小杉 謙一、鈴木 敏行、福原 亨一、
- 68 遠藤 一彦、神谷 幸男
- 69 江崎 善三郎、大石 博司、鈴木 昭夫、酒井 定子、荒谷 じつ子、栗田 瑞夫、宇田 貞子、大石 康博、塚本 浩司、吉崎 英輔、鈴木 俊彦、瀬堂 川 徹、江崎 善三郎、植田 勇夫、秋山 和也、杉山 和子、市原 卓、築地 六郎、岩瀬 順郊
- 70 石川 みのる、谷川 治弘、土谷 尚子、倉田 聡、山下 泉、原 久弥、望月 道生
- 71 石山 博、久沢 正雄、仁科 正雄、増井 満男、清水 令一郎、清 智、有田 久、仁科 俊介、片山 智司、中村 龍二、宮代 省一、富田 三樹、関 哲男、山田 恒男、白石 通子
- 72 石川 宏、前田 利彦、遠藤 幸男、山本 雅司、諏訪 逸郎、伊藤 勝、渡辺 弘、今村 清彦、富野 壽、宮崎 次郎、栗田 甲子男、西野 章、繁村 一雄、曾根 幸一、矢部 正和、山田 貞夫、浦田 彰
- 73 山口 公子、深田 均、佐藤 修一朗、清水 雅彦、山田 勝、村手 正之、夏目 雅之、増田 欽一、大長 義信、望月 智、林 さち子、松永 烈、後藤 孝子、仲川 信正、岡本 修、中西 宏幸、山下 省三、松下 勝朗、彦坂 忠俊、榊原 由之、羽山 武、西本 昇平、中西 英一、加藤 甫、三浦 英夫、大木 茂、鈴木 豊、渡辺 雅俊、山梨 由記
- 74 望月 保、桑原 伊玖子、田中 佐知子、大獄 隆司、藤原 經史、角谷 治子、佐藤 鐘司、井出 宏嗣、西村 泰一、松永 竹生、野々田 昶、藤倉 美耶子、今田 肇、小栗 悠嗣、井出 辰一郎、真鍋 和夫、佐藤 修二、小林 銈一、望月 利人、柳澤 弥太郎、川面 忠男、志村 孝、
- 75 藤倉 美耶子、今田 肇、小栗 悠嗣、井出 辰一郎、真鍋 和夫、佐藤 修二、小林 銈一、望月 利人、柳澤 弥太郎、川面 忠男、志村 孝、
- 76 本田 幸吉、縣 勇兵
- 77 高田 欣浩、鈴木 浩、塚本 平二、清水 澄夫、田口 紘一、洞口 和夫、富田 駿介、國保 能彦、池田 哲郎
- 78 大岩 蓮、石山 健一、栗田 収司、石橋 三洋、深山 源一、清水 雅尚、中山 禮吉、柴田 哲男、森 正毅、石間 啓一、加藤 雅久、川島 宏祥、岩崎 敏宏、後藤 嘉代、中村 邦彦、松井 義之、渡辺 徹、小長井 奎幸、岡本 天晴、野方 重人、伊藤 達雄、中川 素子、飯島 千代美、山内 幸太郎、藤田 尚子、飯田 善久、五島 綾子、友安 昭、白木 桃子、伊藤 洋之、石山 喬、天草 静子、鎌田 勇、安本 恭介、垣生 尚敬、村松 洋子、望月 省吾、奥山 和子、縣 保佑
- 79 中山 英子、菅野 佳男、山本 勝、小川 郷太郎、須川 恒次、上田 尚亮、大石 惠則、野口 政明、飯田 早苗、池谷 吉人、増田 安久、多田 佳忠、柴田 裕、上出 和子、小林 哲朗、鈴木 勝、野崎 幸彦、吉野 卓史、長島 孝太郎、秋山 幹男、子安 義文、飯塚 紘、深澤 直行、吉田 和悦、嶋田 政子、伊井 和良、鈴木 素明、森下 鉄夫、太田 良憲子、宮崎 太加志、岡部 政之、高山 貞和、本多 英一、川島 正和、森下 鉄夫、仲谷 博明、白井 勉、英 嘉明
- 80 荒牧 喬平、石川 康宏、岩崎 年史、青島 泰之、石川 倫男、青木 弌、田畑 秀典、大石 正幸、金子 恵子、河野 健策、吉田 昌史、石津 保彦、遠藤 良治、櫻田 照男、伊達 新之輔、青木 健一、
- 81 太田 良憲子、宮崎 太加志、岡部 政之、高山 貞和、本多 英一、川島 正和、森下 鉄夫、仲谷 博明、白井 勉、英 嘉明
- 82 荒牧 喬平、石川 康宏、岩崎 年史、青島 泰之、石川 倫男、青木 弌、田畑 秀典、大石 正幸、金子 恵子、河野 健策、吉田 昌史、石津 保彦、遠藤 良治、櫻田 照男、伊達 新之輔、青木 健一、

83 秋山 好、大村多聞、河合正弘、田島幸司、多賀谷 秀保、八牧浩行、小野 宏、狩野 行雄、細川 晃、堀内淳司、青木 興治

84 富永 武則、馬場 信幸、仁藤 邦夫、鈴木 秀孝、中村 豊、篠原 良孝、西野 直樹、野呂 克実、大石 高志、久野 泰可、久野 淑子、鈴木 秀孝、長谷川 千代、松永 吉隆、増井 敬、勝又 徳明、田島 一夫、松島 勤、杉山 順一、古谷 良樹、塩谷 立、山田 孝夫、水越 伸昭、三宅 幸夫、杉山 昇、小澤 治夫

85 市原 敏晴、遠藤とも子、今村 行雄、内野 直樹、杉山 由紀子、高橋 成彰、増井 喜一郎、望月 光、山本 政博、池田 幸司、竹田 徹、平川 清、山下 剛一

86 青山 隆一、梅村 博之、近藤 孝邦、芹澤 一夫、種本 廣之、野口 洋亮、野口 ひろみ、矢部 徹、湯山 茂徳、篠宮 章、那須田 利昭、八牧 暢行、浅羽 伸人、石渡 洋行、川口 代志子、小林 俊隆、横山 文子、石川 嘉和、塩川 治朗、高橋 宏、田村 勉、櫻井 博

87 大村 康二、宇佐美 博高、矢部 みはる、五月女 久枝、池田 登巳雄、谷口 ひとみ、大石 裕、片山 秀、木村 幹夫、増田 浩之、鈴木 攻、田中 育恵

88 北村 佳久、北村 美佐子、多々良 勝仁、新村 暢宏、鳥巢 修、海野 秀之、笠松 一久、林 茂、平川 慶子、牧野 尚夫

89 石村 安紀子、小川 一恵、小川 修史、川島 雅行、見城 宗忠、坂田 薫代、白鳥 重治、清 嘉枝、田中 満、田辺 文子、手塚 圭子、中川 径治

90 深沢 英昭、本多 智美、森田 悦三、山内 修、山下 雅子、池上 まり子、遠藤 敦子、織畑 路代、加田 光弘、勝見 浩明、加藤 隆、坂本 春生、佐野 雅明、清水 美久、城川 淳、田中 克美、寺田 敏秀、富田 吉美、中嶋 順、伴 一彦、松田 とも子、武藤 雅俊、村田 和弘、望月 清彦、矢野 和子、山梨 孝子、吉岡 尚代、栗山 伸一、佐野 雅明

91 宇佐美 恵子、久保田 亨、鈴木 宏、田村 豊、土崎 弘子、船木 真由美、小橋 友規子、倉沢 千明、藤嶋 善彦、前川 系子、蒔田 隆佳、小原 裕子

92 甲斐 祥子、小島 毅、園野 康祐、田村 真弓、服部 泰子、吉田 寛子、清水 篤、徳丸 和宏、青木 洋、大津 仁昭、岡村 幸彦、海野 典夫、上崎 正則

関東同窓会会費

一年間 30000円

関東同窓会の会計年度は、4月1日より3月31日までのもので、静岡本部は10月1日から、異なりますのでご注意ください。

93 牛見 豊、太田 洋行、岡部 正明、堀川 玲子、村田 弘之、尾下 康宏、永江 総宜

94 池上 徹、小川 志郎、亀山 晴信、松野 敦子、松永 啓、栗田 明、松井 琢磨、山口 道男、矢部 龍太郎

95 青木 伸、青木 正樹、中尾 安志、鏑木 康志、石田 雅彦、小林 秀男

96 山本 浩志、大村 慎一

97 伊藤 毅、山下 暢久、尾高 泉、山下 真弓

98 五十嵐 寧、太田 裕弥、牧田 秀幸

99 夏目 幸一郎、白井 勝巳、大石 智子

100 田村 晋一

101 大矢 かおり、安本 光夫

102 井上 肇、萩原 さほり、樽井 奈穂美、草谷 緑

103 石山 貞弘、瀧 徹哉、齋藤 光美

104 小島 太郎

105 望月 崇

106 小山 司

107 渋谷 泰子

108 神田 康

109 柳 館 俊

110 122 119 116 109 107 124

注!!

コンビニでの会費納入はできません。同封の郵便局納入用紙で行って下さい。

石(墓、石碑)のことなら (株)イシフク

望月 威男 (77期)  
熊野雄二郎 (84期)  
望月 茂樹 (101期)  
望月 秀康 (107期)

〒421-1224 静岡市葵区飯間 71  
TEL 054-278-6610

関東の人に紹介したい良い環境

八王子 東京霊園

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町  
TEL 0426-61-6734

○お墓、石碑、建材、石のことなら気軽に相談ください。

## 鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1  
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)  
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3  
ピリーヴ大森5F  
TEL 03 (6404) 2100

## 日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号  
TEL 054 (262) 1111(代)  
東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F  
TEL 03 (3272) 4651 (代)

工業用油剤の輸出入から、皮膚保護クリーム<sup>さなる</sup>の製造まで。

## 株式会社 佐 鳴

会長 杉本 哲 (64期)

本社/工場 横浜市戸塚区上矢部町2091-19 〒245-0053  
TEL 045(811)9311(代) FAX 045(811)9319  
東戸塚分室 横浜市戸塚区前田町503-17 佐鳴ビル  
海外事務所 中国 上海市  
E-mail : sugimoto@asnaru.co.jp  
URL : http://www.sanaru.co.jp/

お茶の心を伝える

## 愛 国 製 茶 (株)

代表取締役会長 馬場 泰男 (64期)

本 社 東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)  
高田馬場店 東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

## ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16  
T 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5  
F 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8  
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp  
w w w . r v s t o n e . c o m

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

## Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

## Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

代表取締役社長・主筆 八牧 浩行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館905  
TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

同窓会で人の輪を!!

## 野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3  
敷下ビル6F  
(TEL) 03 (3251) 2348  
(FAX) 03 (3257) 0820

\*昼2時より夜11時まで診療\*

## 医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 <sup>フナシマ</sup> 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分  
TEL 0120-376-480  
FAX 03-3710-8847  
〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

## 鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17  
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848  
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

おくすりのこと、健康のこと、相談できる調剤薬局  
全国250店舗以上のネットワーク

## 株式会社 アイセイ薬局

医療・福祉・介護で日本を笑顔に

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2  
TEL 03-3240-0222 FAX 03-6212-4193  
http://www.aisei.co.jp